

音読

今回は日課プログラムの『音読』について紹介します。

「今、どこを読んでいたかな？」「何回読んでも、全然覚えられない」「人と合わせる楽しさが分からない」こういった困り感を軽減するのが音読プログラムです。

「さんはい！」という先生の掛け声に合わせて、元気いっぱい明るい声が教室に響きます。

みんなで同じ文章を読むという活動を通して、人と合わせる楽しさを体感します。

また、先生と同じところを読む「追読み」、1文ずつ交代して読む「交代読み」、先生のまねをして読む「まね読み」など、多様な活動を通して視覚認知機能や聴覚的な短期記憶の能力の向上も図っています。

そして定期的に行われるのが暗唱テストです。覚えることを習慣化することで、長期記憶のトレーニングになります。

「見て」「聞いて」「読んで」「覚える」活動を通して、子供たちがみんなで頑張ることの楽しさを体感できるよう、日々創意工夫しながら授業を行っています！

- ・ 広島古市教室 082-877-9001
- ・ 広島五日市教室 082-943-9001
- ・ 広島田方教室 082-507-0390
- ・ 広島彩が丘教室 082-926-3906
- ・ 広島五日市児童発達支援専門教室 082-943-9001



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

吹く風、空の高さ、紅葉など秋が深まりを感じさせてくれる頃です。

今日は、信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部医師の本田秀夫氏の「にじいろ子育て」という本の紹介です。副題は「一人一人の個性を大事にする」であり、肩の力がストンと抜ける一冊です。

本のタイトル「にじいろ」には、個性に応じた様々な色の子育てがあるというメッセージが込められています。「個性」と言っても、必ずしも特徴というわけではなく、得意や苦手の一つ一つが個性です。

この本は、全ての人に共通の「心の健康」について述べられています。私達は、なるべく我慢強く逞しい心をもった子を育てたいと思います。でも、嫌な事も辛い事も相談しながら自分の心を強くするという柔軟に対処できる方が健康的…。そんな子どもに育てるにはどうすればよいか…。大事な事は、身近に信頼できる人がいて相談できる安心感ややろうとする意欲を育てる環境づくりや接し方！など、ヒントが1項目約3ページ、コンパクトにまとめられています。子どもの様々な特徴を個性としてポジティブにとらえ直す事ができる1冊です。

秋の夜長。お忙しい毎日と思いますが、読書から子どもの個性を見つめ直す機会としてみてはいかがでしょうか。

お知らせ

クォーレプレミオが設立され新体制となりました。
教室はHPをご覧ください。

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

